

## 令和4年度 第1回 平野区教育会議 会議録

日時：令和4年7月26日（火曜日）午後7時00分

場所：平野区役所 1階 研修室

出席者：【委員】

稲垣委員 橋本委員 宮本委員

眞田委員 箱谷委員 福井委員 大森委員

【オブザーバー】

俵 瓜破小学校校長 北本 平野中学校校長 福井 長吉幼稚園園長

【平野区】

武市 区長 板橋 副区長 立本 こども教育担当課長

樋口 政策推進課長 松元 政策推進課長代理

岩男 こども見守り担当課長代理 上原 担当係長 鈴木

議題：「分権型教育行政」による区内の主なとりくみについて

平野区の将来ビジョン等について

新型コロナウイルス感染症への対応状況について

### ○立本こども教育担当課長

それでは、皆様こんばんは。

若干そろわれていない委員さんもおられますが、定刻になりましたので始めてまいりたいと思います。着座させていただきます。

ただいまから、令和4年度第1回平野区教育会議を開催させていただきます。

本日司会を務めます、こども教育担当課長の立本です。よろしくお願いいたします。

本日はご多用中にもかかわらず、夜間の時間帯にご出席いただき、誠にありがとう

ございます。

また、皆様には、このたび教育会議委員を新たに、あるいは引き続き、ご就任いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、会議開催に先立ちまして、武市区長からご挨拶申し上げます。

## ○武市区長

どうも皆様、こんばんは。平野区長の武市でございます。

本日は、大変お忙しい中、また、この暑い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

先ほど立本課長も申しあげましたように、昨年10月にこの平野区の教育会議、新体制にはなりましたが、感染状況がさまざまということで、本日に至るまで会議の開催ができず、大変申し訳ございませんでした。

私自身、昨年区長に就任いたしまして、教育の現場を見せていただくということで、昨年度は小学校、中学校、幼稚園、38校園全部回らせていただきました。

24区で、平野区は一番小中幼稚園の数が多いということで、本当に広い中、たくさんの学校を回らせていただいて、ただ、今どの学校も本当に一生懸命取り組んでいただいていることに感銘を受けました。

今年は新しい先生が来られた学校や、改装の改修工事とかが入る予定のところを中心に回らせていただいたんですけども、コロナの感染状況とか大変な中で学校行事の変更であるとか、そもそも授業をどう進めていくかというようなことに先生方が大変ご苦労されているところをいろいろ聞かせていただきました。

区役所といたしましても、読書運動であるとか、がんばる小学生・がんばる中学生の表彰制度であるとか、ゲストティーチャー制度や、不登校の児童生徒を支援する生きる力育成事業など、区役所独自の取組も続けてまいりましたけれども、今後とも取り組んでまいりたいと考えております。

今年、平野区の将来ビジョンを策定いたしまして、それに合わせて、生きるカプラ

ステンというこれまでであったものも少しバージョンアップをいたしました。そのあたりも今日は少しご紹介をさせていただきながら、会議を進めてまいりたいと思います。

お忙しい中の貴重な時間ですので、この会議が皆様の意見交換によって有意義なものとなるように願っております。本日はどうぞよろしく願いいたします。

#### ○立本こども教育担当課長

続きまして、本日は新委員による最初の会議になりますので、ご出席委員の方々から自己紹介をお願いできればと思います。

別添委員名簿をご覧ください。なお、委員名簿に一部訂正がございます。名簿中、平野区PTA協議会会長となっております橋本様は、過日総会を終えられまして、前会長ということで、新しい会長にもう既にバトンを渡しておられます。前会長ということでご訂正ください。同じくその下の平野区PTA協議会の芳崎様におかれまして、過日の総会で前監事ということで役職を勇退されておられますので、合わせてご報告させていただきます。誠に失礼いたしました。

それでは、自己紹介ですが、この名簿をご覧になりながらマイクをお回ししますので、所属とお名前、それから何かひと言ございましたらお願いしたいと思います。

それでは、誠に勝手ながら眞田委員様よりから順番にお願いいたします。

#### ○眞田委員

こんばんは。大阪平野ロータリークラブから来ました眞田和浩と申します。よろしく申し上げます。このときに副委員長と令和3年時にはなっていましたが、この4年7月から委員長に就任しまして1年間、令和5年7月まで委員長の役目を務めさせていただきますので、訂正しておいてください。もし任期が9月になれば、この会議なども9月まで任期を延ばしながらでも出席させていただこうと思います。そしてまた、次の日曜日にサマーフェスタがありますので、それにはこの平野ロータリークラブも出店させていただいて、かなり力を入れて、こどもたちのために笑顔を取り戻すような企画も考えていますので、どうぞよろしく申し上げます。

### ○橋本委員

こんばんは。平野区PTA協議会、先ほど訂正ありました、前会長の橋本です。今年度も役員、監事として残っております。こどもたちのこともそうなんですけども、保護者のことも考えて今後ともPTA活動していきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひします。

### ○大森委員

常磐会学園大学の大森です。こんばんは。常磐会学園大学は、地域に貢献する大学、平野区と共に歩んでいきたいと願う大学です。ですから、今日このような教育会議に出席させていただいたことを大変うれしく思っております。よろしくお願ひします。

### ○箱谷委員

瓜破小学校はぐくみコーディネーターの箱谷です。前年度より引き続きさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

### ○稲垣委員

皆さん、こんばんは。平野区民生委員協議会の児童委員活動推進部会長の稲垣です。どうぞよろしくお願ひします。私も昨年に引き続きまして2年目になりますが、今年12月に一斉改選になりますので役のほうがどうなるか分かりませんが、それまでは皆さんと一緒にやっていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。

### ○宮本委員

こんばんは。平野区青少年指導員連絡協議会、会計をさせていただいております宮本です。よろしくお願ひします。コロナ禍でイベントが少ない中、今回初めて3年ぶりにいろいろなイベントを開催したんですけれども、ただ皆さん卒業した人ばかりなので、新たに一からというところなので、こどもたちとどう向き合っていくかというのをまた初めから課題として青少年指導員で話し合っていけたらなと思ひしております。なので、今回こういう会議の場に行かせていただきまして、少しでも勉強していけたらと思ひますので、よろしくお願ひします。

#### ○福井委員

こんばんは。公募委員の福井みゆきです。発達障がいのこどもを二人育てています。今は、成人しているんですけども、そのときの経験等がこちらのほうに反映されたらいいなと思って参加しています。2期目になります。よろしくお願いいたします。

#### ○立本こども教育担当課長

委員の皆様、ありがとうございました。名簿のほう、また訂正お願いしたいと思います。失礼いたしました。

本会議にオブザーバーで参画いただいております、区内校園長の先生方より自己紹介をいただきたいと存じます。誠に勝手ながら、平野中学北本先生からお願いします。

#### ○北本平野中学校校長

こんばんは、平野中学校校長の北本と申します。平野中学校の校長として4年目になりました。今年度、平野区の中学の幹事校長ということです。今後ともよろしくお願いいたします。

#### ○俵瓜破小学校校長

こんばんは。瓜破小学校校長、俵でございます。平野区に来て3年目で、この2年間はコロナのために地域の方のいろいろな祭りとかそんなこと全くありませんでしたので、なかなか状況がつかめないところです。やっと何とか今年から少しずつ動き出てきたので、これからかなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○福井長吉幼稚園園長

失礼いたします。皆様、こんばんは。長吉幼稚園園長の福井でございます。私は昨年度東成区から転勤してまいりました。この教育会議は2年目になります。平野区のこと、たくさん知りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○立本こども教育担当課長

オブザーバーの先生方、どうもありがとうございました。

続きまして、区役所の職員の自己紹介をいたします。改めまして、区長からお願い

いたします。

**○武市区長**

区長の武市でございます。よろしくお願いいたします。

**○板橋副区長**

副区長の板橋です。本日、暑い中ありがとうございます。最後までどうぞよろしくお願いいたします。

**○樋口政策推進課長**

政策推進課長の樋口と申します。今年度4月から平野区にまいりました。どうぞよろしくよろしくお願いいたします。

**○岩男こども見守り担当課長代理**

こんばんは。こども見守り担当課長代理で、子育て支援室のチームリーダーの岩男と申します。児童虐待・DVなどの対応、あるいは広く0歳から18歳までのお子さんの子育てに関してご相談を受けておりまして、児童相談所や学校さん、保育士さんとも日頃から勉強させていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

**○松元政策推進課長代理**

失礼します。政策推進課長代理をしております松元でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

**○上原担当係長**

皆様、こんばんは。この教育担当係長の上原です。再任用2年目になります。平野区のこの教育会議は平成27年度から開催されましたが、そのときの担当課長でした。そのため、現役時期を入れますと、この会議に8年間携わったております。よろしくお願いいたします。

**○立本こども教育担当課長**

そして改めまして、こども教育担当課長の立本です。どうかよろしくお願いいたします。

それでは会議を始めていきますが、新しく委員になられた方もおられますので、教

育会議の概要説明を簡単にさせていただきます。お手元の平野区教育会議開催要綱などをお手元に見ながら、進めさせていただきたいと思います。

教育行政の推進に当たりましては、「ニア・イズ・ベター」に基づき、地域に身近な区役所が教育委員会とともに、保護者や区民等の声をくみ取りながら、施策を実施する「分権型教育行政」を進めることとしています。

区長におきましては、教育委員会事務局の「区担当教育次長」という立場に位置づけまして、区内における教育長の一定の権限と責任を分担し、また、副区長以下、私ども教育担当も教育委員会事務局職員を兼務しております。

「分権型教育行政」を推進するために、区役所においては、保護者・地域住民・校長先生などの多様な意見・ニーズをくみ取る仕組みを構築することとされており、この教育会議も、その仕組みの一つであります。平成27年10月に発足いたしました。

お手元の「平野区教育会議開催要綱」の第1条に、会議の目的が規定されておりますので、ご覧ください。

また、要綱第3条には「委員」の規定がございます。教育会議は、第2項に記載のとおり、(1)保護者、(2)地域住民、(3)学識経験者等から区担当教育次長が選定することとし、このたび、稲垣委員・箱谷委員、福井委員の3名には引き続きご就任いただき、新たに5名の委員の皆様に就任いただきました。

どうかよろしく願いいたします。

なお、教育会議につきましては、原則公開の会議で、一般の方の傍聴や、報道機関の取材も可能となっております。また、本日の会議内容は、区役所ホームページ等で公開する必要があることから、会議の録音を取らせていただいておりますので、ご了承ください。

なお、本日は、傍聴並びに報道機関の取材はございません。

それでは、次に本会議の議長及び副議長の選出に移らせていただきます。

「平野区教育会議開催要綱」第6条第1項により、委員の方々の互選により議長及

び副議長を選んでいただくことになっております。ここでどなたか、自薦・他薦はございませんでしょうか。

ないようですので、事務局案をご提案申しあげてもよろしいでしょうか。

議長には、前期まで当会議の議長を務めていただきました、常磐会学園の美濃前委員の後任として、今期からご参画いただく、常磐会学園の大森委員をご推薦したいと考えておりますが、皆様いかがでしょうか。

(拍手)

**○立本こども教育担当課長**

ありがとうございます。次に、副議長の選出でございますが、大森議長、どなたかご推薦などはございませんでしょうか。

**○大森議長**

今、議長に就任させていただきました。私、この会議初めての参加ですので、それまでの様子をご存じの2期目の委員の方にお問い合わせきたらなと思っております。できましたら、バランスも考えて、女性の方で、お隣にお座りの、はぐくみコーディネーターをされている箱谷様にお問い合わせきたらと思っております。いかがでしょうか。

**○立本こども教育担当課長**

箱谷様、ご就任いただけますでしょうか。ありがとうございます。

(拍手)

**○立本こども教育担当課長**

それでは、議長には常磐会学園の大森委員、また副議長には箱谷委員が選出されました。これより議事進行は大森議長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

**○大森議長**

それでは、議長に就任いたしました私のほうからひと言ご挨拶させていただきます。先ほども申しましたけども、常磐会学園大学は地域と共に歩いていくことを何より

も大事にしております。常盤は保育所の保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、中学校の英語教諭を養成しております。その中で現代の教育の課題として地域と共に歩むことを、繰り返しますが、大事にしています。こどもたちは地域で育てられています。また、地域で育てなければならないと考えています。そのためにも、常盤では平野区のさまざまな事業に共に活動させていただいております。また、常盤学園大学のある喜連地域は歴史ある地域でもあります。先日も大阪の歴史博物館でも展示されておりました。そのような活動にも、私たちも一緒にフィールドワーク等させていただいております。皆様方と一緒に地域の活動について考えられたらと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、副議長のほうにもご挨拶お願いいたします。

#### ○箱谷副議長

失礼します。副議長をさせていただきます。微力ですが、皆さんよろしくお願いいたします。

#### ○大森議長

すみません、突然ご指名いたしました。

何分不慣れではございますが、議事進行に協力を改めてお願いいたします。以上をもちまして、挨拶といたします。

それでは、議事を進めてまいりたいと思います。

もう既にお配りされておりますレジュメの次第に沿って、区役所から資料の説明をお願いしたいと思います。

#### ○上原担当係長

それでは、皆様改めましてこんばんは。平野区役所の上原です。

読書ノートから、こどもの「生きる力」育成支援事業までの8項目を説明させていただきます。

まず、6ページをご覧ください。横長の表になります。最初にあります読書ノート

表彰事業から、説明させていただきます。読書ノートを中心としました読書運動は、平成29年度に小学生から始めました。読書ノートは当時の稲嶺区長が、各小学校を訪問した際に、平野区の児童は読解力が弱く、それを向上させるにはと、先生方と対策を考えた中で出てきたアイデアを事業化したものでございます。

読書ノートは区役所から学校への押し付けにならないように、校長会等も活用しまして何度も説明し、また読書ノートの作成には、学校図書主任や平野図書館にも関与いただき、その意見を大幅に取り入れて、半年間かけて作成いたしました。そのため、学校からいただきましたアイデアも数多く取り入れております。例えば、一般の読書ノートでは100冊以上が基準となりますが、このひらちゃん読書ノートは、1年生から4年生は100冊以上、そして5年生、6年生に関しましては3,000ページ以上と、基準がページ数になっております。これは5年生以上になりますと読む本が厚くなり、なかなか100冊読むことが難しくなります。それを機に読書に興味を失うことを防ぐために、ある学校が独自に行っていた3,000ページという基準を平野区役所で採用しまして、5年、6年生でも少し頑張れば到達できるように工夫しております。

来年の1月下旬から3月上旬にかけて、区長もしくは副区長が小学校、中学校、並びに公立幼稚園、全38校を訪問しまして、朝礼等の機会を活用して表彰いたします。

8ページをご覧ください。一番上の表にございますが、昨年度小学生に関しましては、表彰者数が2,282名となっております。これは平成29年度に始めて以降の最多の表彰者数となっております。また、「表彰率」、表彰された人数を全児童数で割った数字ですが、これが27.4%と、4人に1人以上が表彰されております。なお、表彰状には表彰者の氏名のほか、読んだ冊数等も記載しまして、一人一人異なる表彰状を作成しております。これも一人一人記載内容が異なる方が、自分だけの表彰状と感じて、さらに、児童は努力できるという、学校現場からのアイデアを活用させ

ていただきました。

また資料にはございませんが、平野区役所では「ひらちゃん図書の自由貸出し制度」を設けまして、区役所の待ち時間に読んでいただくほか、手続なし、返却期限なしでの図書の貸出しも行っております。この事業は、「読書を勧めるのはよいが、児童図書、特に絵本は値段が高くて購入が難しい家庭も多いので、各家庭で不要になった図書を集め、無期限で貸出し制度を設けては」とのご意見が、平成30年度のこの教育会議の場で委員からございまして、それを実現させた制度でございます。

また、24の区役所の中で唯一、市立図書館でお借りした図書を区役所で返却できるポストも、中央図書館と協力して設置しております。

続きまして、2項目目。「がんばる小学生がんばる中学生の区長表彰」にまいります。9ページに表彰内容を記載しております。大人から受け取りました褒め言葉が、自身の貴重な成功体験となり、成長に好影響をもたらすことが実証されております。学業やスポーツの大会で成績がよければ表彰されますが、この表彰制度はそうしたのではなく、日常生活で目立たないけれども、地道にコツコツ頑張った児童・生徒を区長が表彰する制度になっております。9ページの一番下の部分に平野中学校の生徒の項目があり、「高齢者への親切な対応」という内容が記載されています。こちらは登校途中に、つえをなくして困っている視覚障害の高齢者に寄り添って、つえを探し、警察が到着し保護されるまで寄り添った対応を表彰しております。また、清掃活動や、福祉施設でのコンサートなど、社会奉仕活動につきましては、一番右側にあります「ロータリー賞」として、大阪平野ロータリークラブさんからも重ねて表彰されております。

続きまして、3項目目。資料はありませんが、「学校図書館ボランティア区長表彰」でございます。この制度は学校、教育会委員から、「読書ノートの表彰には学校図書ボランティアが多大な役割を担っているので、ぜひとも区役所から表彰いただきたい」とのご意見があり、平成30年度から始めた事業でございます。また、同様に「こど

も見守り隊区長表彰」は、小学校との教育行政連絡会で学校から出た要望により生まれた表彰制度になっております。

4項目目は、ゲストディナーチャー制度です。10ページに令和2年度と令和3年度の実績を記載しております。令和3年度、昨年度は、計画したものの感染症の拡大もあり計画したものの中止、また、実施寸前で急遽中止もございました。職業講話では、11ページに主な職業講話を記載しておりますが、民間人工衛星「まいど1号」の製造にかかわった自動制御機器会社や、食品サンプルの製造体験、行政書士や税理士、獣医師など国家資格の方からの説明、またSDGsにも対応したごみの減量や資源の大切さ、また平野の歴史や史跡などの紹介、海外で活躍された方のお話など、平野ゆかりのさまざまな方々を小中学校に派遣しております。

続きまして、5項目目。「英語スピーチコンテスト」です。12ページになります。こちら平成27年度から常磐会学園大学の協力を得て開催しているものでございます。年々参加者も増え、レベルもアップしております。審査は東京大学スピーチコンテストの審査員でもある常磐会学園大学のアレックス教授を中心に行っています。今年度はSDGsや感染症についてのスピーチも加えました。

6項目目は、「こども学力サポート事業」になります。13ページをご覧ください。本事業は教員をめざす大学生や地域人材を小学校及びこども食堂等に派遣しまして、児童の学習支援と放課後の居場所を確保する事業でございます。現在43名の方々が活動されております。

7項目目。「民間事業者を活用した課外学習支援事業」は、長吉西中学校で行っている「なかよし塾」と平野区内の全中学生を対象としました短期の学習塾「ひら塾」がございます。「ひら塾」は昨年、一昨年と感染症の拡大で中止しておりましたが、今年度は昨日から区民センターで開講しております。詳細につきましては14、15ページをご参照ください。なお、本事業のみ、実施方法は若干異なりますが、24区で展開している事業になります。

そして最後になります、8項目目。「こどもの生きる力育成支援事業」。こちらは平成28年度から始めました不登校対策支援事業で、区民ホールや区民センター、また中学校の別室などを活用しまして、不登校の生徒の学校復帰を支援しております。

以上、8項目をご説明させていただきました。先ほども申しましたように7項目目の「民間事業者を活用しました課外学習支援事業」以外は、平野区の独自事業となります。また、多くの事業で大阪平野ロータリークラブさんにお世話になっており、その内容を16ページに一覧表で記載しておりますので、またご覧いただければと思います。

長くなりましたが、私からの説明については以上でございます。ありがとうございました。

#### ○大森議長

では、今8項目にわたって説明をしていただきました。その8項目につきまして、ご意見あるいは質問のある方はお願いいたします。

何かご質問、ご意見ないでしょうか。福井さん。

#### ○福井委員

福井です。ゲストティーチャー制度のことですが、最近、他の講演で講師の方が男性ばかりだったと話題になったりしましたが、この制度には女性の講師の方って参加されているのでしょうか。

#### ○上原担当係長

割合としては低いのですが、女性の方もおられます。女性の獣医師さんの講義も行っておりますので、その点は対応しております。

#### ○大森議長

ありがとうございました。今、福井様から「女性の講師の割合を」と聞かれまして、「少し低いですが、女性の講師の方もおられます」というご回答でした。

その他、どうでしょうか。

### ○立本こども教育担当課長

区役所から補足ですけれども、読書運動を幾つも平野区は推進しておりますが、こどもたちにできるだけ本を届けたいということで、本日ご参加いただいております令和3年度の平野区のPTA協議会のほうから、年度末から年始にかけて平野図書館の館長とも相談をして、小中学生、幼稚園のこどもたちに人気のある本を全ての学校園に区のPTAのほうで購入いただいております。それに平野区役所のほうも、平野区住みます芸人の「翠星チークダンス」というところの二人に書評などを今後取り組んでいく予定にしております、この様子は8月号の「広報ひらの」のトップページに会長と区長の表彰の様子も含めて載せておりますので、この区のPTA様からのご寄贈を元にこういった取組も展開をしていくということを少しご紹介しておきます。ありがとうございました。

それから、女性のゲストティーチャーにつきましても、平野区内の産婦人科の病院の助産師の先生方にも登録いただいております、こどもたちの性教育であるとか、どうしても未成年で出産されるお子さんのケースもございますので、命の大切さも含めて用意はしております。ただ、コロナの関係でなかなかそこまで学校側もできてないというのがこの1年間の様子でございます。

以上、補足です。

### ○大森議長

ありがとうございました。読書に関して平野区PTAのほうからの本の寄贈、あるいは講師につきましても女性の講師もおられますということを重ねてご報告いただきました。

では、ほかにどうでしょうか。よろしくお願いたします、稲垣さん。

### ○稲垣委員

失礼します。このゲストティーチャー制度なんですが、派遣事業されているところの学校が結構偏って、平野区全体から見れば僅かな学校しかしてないようなんですが、

これは学校側からの要請でされるだけなんですね。区役所のほうからもうちちょっと頑張れというふうな。

#### ○立本こども教育担当課長

年度当初に校長会などで先生方も変わられますので、そのときにご紹介します。ただこの2年間、本当に学業優先というか、学校の授業をまず優先しなければいけないということで、なかなかそれまでと比べて少し遠慮されると言いますか、平野区の子どもたちにとってはいろんな体験をされた方々のお話で、決してすごいことを成し遂げたという方ばかりじゃなくて、こちらの表にもありますように、非常に学生時代は学力が低かったけれども頑張って税理士になって成功したよとか、いろいろな成功例をお話しいただける貴重な場になっておりますので、コロナさえ落ち着けばどんどんセールスもしてまいりたいと思いますので、せっかく貴重な講師がご登録いただいておりますので、そこは少し取組のほうをまた強めたいと思います。ありがとうございます。

#### ○大森議長

ありがとうございました。

#### ○上原担当係長

リストに記載以外の小学校、中学校からも申請がありましたが、感染症の拡大の影響で中止になったものも多く、実施した学校のためのリストでは偏った感じになっています。しかし、一昨年度、昨年度と比べますと、新規の学校も複数も入っており、感染症の拡大が落ち着けば、利用はもっと広がっていくと思います。

#### ○大森議長

「コロナの関係でちょっと偏りが出ました。でも、これからは活発化する」ということです。ありがとうございます。

続いて、何かあるでしょうか。もしありましたら、また後ほどさせていただくということで、次の議案に移りたいと思います。

それでは、今度はこどもサポートネット事業についてお願いしたいと思います。

#### ○岩男こども見守り担当課長代理

こども見守り担当の岩男です。こどもサポートネットに関して、このカラー刷りのチラシを1枚つけさせていただいております。もともとはこどもの貧困対策という観点から、平成28年に調査をさせていただき、その調査からいろいろなことが分かりました。おそらく皆様の肌感覚とも合う部分は多いと思いますが、経済的に困窮しているご家庭のお子さんというのはやはりいろいろと悩みも多いですし、困りごとというのも多く抱えている。にもかかわらず、そういう本来支援や助けを必要としているご家庭こそ、なかなか支援につながりにくいという、矛盾と言いますか、乖離がございまして、そこを何とか埋めていく必要があります、大阪市では、この「こどもサポートネット」という制度を始めました。

どういご家庭に生まれ育ったとしても、こども一人一人が平等にいろいろな機会を得られたりとか、それぞれ持っている力を伸ばしていけるという機会につなげていきたいということで、小学校、中学校のほうにスクールソーシャルワーカーと連携をしまして、こどもサポートネットの推進員という職員が、学校に定期的に巡回もいたします。学校のほうでは全生徒さんに関して、どういう課題を抱えているか、しんどさを抱えているとかいうことをスクリーニングいたしまして、その中から何か制度につないでいくことができないかとか、何か福祉的な助けがあれば、ご家庭、あるいはお子さんにとってプラスになるのではないかと。そういうお子さんがいらっしゃいましたら、このこどもサポートネットのほうにご相談をいただきまして、一緒に家庭訪問させていただいたり、あるいは区役所のお手続などもなかなか煩雑で分かりにくかったり、「何か制度の名前は聞いたことがあるけど、実際どうしたらいいのか分からへん」ということや、保護者さんも先生方も「何となく知っているけども、実際手続になるとやはり専門の福祉の者に聞いたほうが」という場合もあると思いますので、その部分、制度につなげて見守ってお手伝いをしていくという立場で、活動させて

いただいております。

先生方のご協力もいただきまして、小学校、中学校と連携しながら、いろいろなご相談を受けて、多くのお子さん、ご家庭にも関わらせていただいております。

実は平野区は、こどもサポートネットの推進員は定員6名と定められており、モデル区として先行実施しておりましたときは定員充足しておりましたが、全区展開になりましたら、残念ながら大阪市の端ということもあってか、他区と取り合いになり、推進員が4月時点では2名。8月に一人補充ができますので、8月から3名という形にはなるものの、欠員がある状態が続いております。我々区役所職員のほうでも一緒にこの役割を担いながら、地域の皆様、学校の皆様とともにこどもたちのお力になりたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

#### ○大森議長

ただいま、こどもサポートネット事業について、ご説明がありました。大阪市は安心安全な教育の推進ということをおっしゃっております。そのようなことに関連しまして、皆さんのほうから、ご質問、ご意見おありでしょうか。

特にならなければ、また後ほど何か思い付かれることあったらとさせていただきます。議事を次に進めたいと思います。

次に、平野区の将来ビジョン等について、ご説明をお願いします。

#### ○松元政策推進課長代理

失礼します。それでは、私のほうから平野区の将来ビジョン等について説明させていただきます。別紙カラー印刷の一枚物で、「平野区の将来ビジョン〈概要版〉」と書かれたものをご覧いただきたいと思っております。

これ、先ほど区長からも挨拶のとき紹介がありましたように、平野区では区がめざす中期的な将来像を設定しておきまして、このたび令和4年度から令和7年度までの分を設定したところでございます。これを区政会議においても議論していただいて、決めさせていただいたというところでございます。

簡単に紹介させていただきますと、めざす将来像といたしまして「笑顔輝くまちひらの」とさせていただきます。この一つ前までは、多世代交流ということでしておったんですけども、今年度からの新たな目標ということで決めさせていただきました。今後、これを目標に取り組んでいきたいと思っております。

施策の方向性といたしましては、これまでと同じ「安全・安心」「みんなで支えあう福祉」「こどもが元気で育つまち」の3つを3本柱といたしまして、これらを有機的につなげ、各施策間の連携・協働の促進を図ってまいります。区のホームページに詳しい内容を掲載しておりますので、ぜひご確認いただきたいと思います。

続きまして、同じくカラー印刷の一枚物で「平野区こどもたちの「生きる力」育成プロジェクト+10（プラステン）」の資料をご覧ください。これも区長からあったものですが、これも将来ビジョンの改訂に伴い刷新したものでございまして、子育てに関して重点的に取り組む施策を10個のカテゴリーに分類したものでございます。理念と考え方はこれまでのものを継続しております。

裏面をご覧くださいなのですが、今回新たにステージ別一覧表を作成いたしました。年代別にも参照できるようにいたしました。これについては詳細版の冊子もお配りしておりますので、ご覧いただければ幸いです。

それから、今年度から全市の動きといたしまして、大阪市教育振興基本計画も新たに策定されましたので、紹介させていただきたいと思っております。ホッチキス留めの資料の最後のところ、18ページをご覧ください。これは先ほどの平野区将来ビジョンと同様に令和4年度から令和7年度までの4年間の計画でございまして、3つの最重要目標の下、9つの基本的な方向を示しております。これは大阪市全体の計画ということでこのたび定められましたので、これも参考にいただければと思っております。これも教育委員会のホームページに具体的な内容が掲載されておりますので、ぜひご参照ください。

私からの説明は以上です。

## ○大森議長

ただいま、平野区区政会議の中でも話し合われた将来ビジョン「笑顔輝くまち ひらの」の将来ビジョンについての説明がありました。また、「こどもたちの「生きる力」育成プロジェクト+10」についても説明がありました。このことについて皆さん方、ご質問、ご意見おありでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは何度も言いますが、もしまた後ほどあるようでしたら最後一括してお聞きいたしますので、次の説明に入っていただこうと思います。

最後になりました。新型コロナウイルスへの対応状況について。

## ○松元政策推進課長代理

それでは、続けて松元から説明させていただきます。新型コロナウイルスの感染症につきましては、今月とうとう第7波に入りまして、発症者が全国的に急拡大しており、平野区でも増加しておりまして、その状況について簡単に報告させていただきたいと思っております。

今年に入りまして1月以降、区内の市立学校園で陽性者となって報告されました児童生徒の人数については、昨日まで計算しましたが2,173人おりました。これは1月以降なんですけども。そのうち月ごとに見てみましたら、第6波のピークでありました2月が624人ということになっておりまして、この7月は夏休みまでの間にまた600人を超えているという状況になっております。7月だけで学校休業、学校全体が休みになったのが3校、学年休業として4校、学級休業されたのが14学級。これは全て7月だけの数字ですけども、そういった状況になっております。

現在、学校園も夏季休業に入っているところなんですけども、2学期以降状況が少しでも改善するように引き続き感染対策についての周知啓発等実施してまいりたいと考えております。

報告は以上ですが、今日せっかく各小中、幼稚園から来ていただいておりますので、その様子などを簡単にお伺いできればありがたいと思っております。議長、よろしく

お願いいたします。

### ○大森議長

7月に入り、今お聞きしますと、学校休校が3校、あるいは学年・学級閉鎖も少しずつ増えておりますということです。現在、小中学校、既に夏休み入っているわけですが、小中学校の校長先生、何かもう少し説明等ありましたらお願いできますか。

### ○北本平野中学校校長

失礼します。平野中学校のことで言わせていただきます。この4月から少し感染状況も落ち着いてきて、何とか教育活動についてもおおむね順調に本校はできたかと思っています。ただ、修学旅行、もともと九州に往復新幹線で行く予定でしたが、やっぱりこの状況も踏まえてということで、3月までの時点で1学期はもう見合わせたほうがいいかなと。また、行き先は最悪、昨年也是如此ですけど、現地に保護者に迎えに来ていただく可能性もあり、新幹線で九州まで来てもらうとなったら親の負担等も考え、9月に岐阜方面に往復バスで行く予定にしました。

本校は、修学旅行は2学期に延期し、1年生の泊行事については予定どおり5月に実施できました。ただし、予定どおり5月、6月に行った学校も、修学旅行中、もしくは帰ってからクラスターが発生し、学年休業、学級休業、また教職員も感染者が増えてと、大変な学校もたくさんあったと聞いています。幸い本校は、この1学期については学年あるいは学級休業はする措置は取っておりません。取らなくても何とかいけました。ただ、第6波のときの3学期、前年度の3学期については、学年あるいは学級休業ということで、何回か閉めたり開けたりということを繰り返しました。

また、子どもたちだけではなく、教職員も、学校ではクラスターがなくても、家庭内での感染や濃厚接触者になり勤務できないなど、何とか休んでない先生方で回すしかない状況になることも起きています。

また、7月になってから、感染者の数が増えてきました。杭全の祭りが7月の11日から14日ということで、本校の生徒も参加しますし、ご家族の参加するご家庭も

たくさんあります。ちょうど1学期の期末テストも終わって、懇談が始まる時期でしたが、祭りに参加するため休ませてもらいますという家庭連絡も結構あって、祭りが終わってから、結構その子たちが陽性になったという話も聞いております。7月20日が1学期終業式でしたが、なんとか逃げ切ったというような状況です。感染者が増えてきて、先生も3人、1学期末に陽性になって、それぞれどこで感染したのかは分かりません。1年生では2クラスの担任の先生が休みになり、学年の先生で懇談を何とかカバーしました。3年生の担任も1人、陽性になり今もまだ休んでいます。3年生、進路も控えている、まだ決定の時期ではないのですが、重要なことですので、どうしても自分が懇談をやりたいということで、夏休み中に復帰してから、最終日の1日だけが懇談できなかつたので、その日に予定されていた家庭に連絡して懇談を行っている状況です。昨日、今日、今週に入ってから、陽性、陽性ということで、区役所にも連絡を入れさせてもらっていますが、小さい子が増えてきているみたいで妹さんや弟さんからの家庭内感染も増えています。

幸い部活動も、きょうだいが発熱したから大事を取って休んでいたため、部活の中では濃厚接触者がなかったのですが、ちょうど様々な競技種目、大会の最中ですので、毎日不安な日々を送っているような状況です。中学生はそんな感じです。以上です。

#### ○俵瓜破小学校校長

瓜破小学校です。コロナもありましたけども、本校、校舎の建て替えがありまして、昨年度中は今の運動場の6分の1ぐらいのスペースしかなく、運動会もできず、去年は体育参観という形で、学年で入れ替わり、何とか実施しました。懇談等も前半後半を分けるなどの対応をしてまいりました。

今年度は、ほぼ行事についてはできています。ただ、中学校の北本校長先生もおっしゃっておられましたが、本校も1学期の終わりにバタバタと、こどももそうですけれども大人のほうも、本人の陽性もありますし、濃厚接触者で家にいなければいけないという状況もありまして、終業式が7月20日だったんですけど、確か19、20日

ぐらいから、約30人弱の教職員のうち6人がいないという状況もありました。何とかいろんな方の応援でしのいで、本当にぎりぎりセーフという形でした。

実は今、不安なのが、林間学習が今度の日月に入っています。場所はもともとハチ高原でしたが、一昨年度から貝塚のほうに変更し、距離的には近いのですが、どうなるかなというところなんです。毎日、保護者にメールを送っていきまして、そこにアンケートをつけており、発熱などの症状を把握しております。今、返ってきているご家庭は幸いなことに親子とも健康、ご家族も健康ということで、何とか今協力いただいでできるかなというふうに考えております。

教職員も順に復帰してきておりますが、本当に何が起こるか分からないので、そのときに教職員の代わりがいるかとかいうところ、今対策に頭を痛めているところです。以上です。

#### ○大森議長

平野中学校と瓜破小学校の校長先生、どうもありがとうございました。

#### ○福井長吉幼稚園園長

幼稚園です。幼稚園は、昨年令和3年度の1学期はまだコロナ禍、今もコロナ禍ですが、昨年はまん延防止等重点措置の期間中で、こどもたちの保育は行っていたのですが、園外に出ることができないとか、保護者の方に園の中に、お部屋のところに入ってこどもを見るということが1学期できなかった状況でした。幼稚園は1学期、特に初めて集団生活を過ごすこどもたち、また進級して環境が変わって、不安なこどももいる中で、保護者の方もきっと同じような気持ちの方もいらっしゃったと思いますが、中に入れてもらって、実際にこどもを見てもらうことができない状況でした。

今年はおうちの方にも部屋に入れてもらって、直接こどもの活動している姿を見てもらえたことは、こどもだけでなく保護者の方の安心にもつながったように思っています。いろいろな行事も、去年できなかった、去年1学期したかったけどできなかったと思うような親子遠足に行ったりとか、園内で夏祭りをしたりというのも実現す

ることができて、こどもたちもおうちの方も充実した楽しい生活が送れたかなというふうには思っています。

今年度は園外に出られるということで、地域の方との交流も、きっかけを見つけてできるようにと考えて取り組んできました。平野区は読書活動にとっても力を入れておられますので、園の中でも今年度の目標に「絵本に親しむ」を入れています。園の中にも絵本はありますが、もっといろいろな本に触れる機会を作ってあげたいということで、今年度初めて小学校の図書室に行けばたくさんの本に出会えるかなと思い、校長先生にお願いして、年長のこどもたちで学校に行って、図書室に訪問させてもらうという取組をさせていただきました。

幼稚園にはないたくさんの本とか絵本があったり、大型の絵本があったりして、たくさんの新たな興味も持てたし、本って面白いなという気持ちにもつながったのかなというふうに思っています。直接小学生と交流するということではなかったのですが、この方法であれば、感染が進んでも小学校に入って、小学校ってどんなところかなということに、こどもたちも気付くことができて、進学に対しても安心感を持ったりとか、学校に行きたいなという気持ちになれるかなというふうに思いました。また今、感染広がってきていますが、広がっているからできないではなくて、できる方法を今後も考えていきたいと思っております。以上です。

#### ○大森議長

ありがとうございました。今、中学校、小学校、特に宿泊を伴う行事についてはいろいろと工夫をしながらも進めています。また、大きなことにはならずこのコロナ禍、第7波を何とか乗り越えてきています。特に今、幼稚園はコロナ禍にもかかわらず幼小連携のさらなる進めを行っていますという報告がありました。

以上をもちまして本日の案件は一応終了しておりますが、区役所のほうは他の案件はどうでしょうか。いいでしょうか。

#### ○立本こども教育担当課長

特にございません。

#### ○大森議長

ありがとうございます。それでは、本日議案、一応終了いたしました。先ほど申しましたが、何か質疑兼質問が少し言いたいということがありましたら、一括してお聞きいたしますが、いかがでしょうか。

#### ○稲垣委員

ちょっとお聞きしたいのですが、この「こどもたちの「生きる力」育成プロジェクト+10」の中にもいろいろ書いてあるのを見せていただいたんですが、最近よく問題になっているヤングケアラーですよね。これはやっぱり民生委員としても結構気になることが多いので、この辺のところももう少し、こどもたちが笑顔になるのはいいのですが、笑顔のないこどもたちのことをもうちょっと考えて何かできないかなと思って。行政のほうでも何か動いていただけたら、学校のほうもその辺の調査ってなかなかしにくいとは思いますが。民生委員としてもなかなか見えないところが多いもので。事が起きてから、ああ、こういう家庭だったんだということが多いのでね。その辺、よく問題になってきていることなので、気にはしていますので、また何か方法がありましたら、よろしくお願ひしたいと思います。

#### ○武市区長

ありがとうございます。実は大阪府でヤングケアラーの調査を昨年度の終わりに、行いまして、先日その報告書が、速報ですが公表されて、大阪市のホームページに載せております。

細かい数字もさておき、学校を通じて調査をさせていただきましたので、アンケートの回収率はかなり高かったと思います。私たちも想像はしておりましたけども、それなりの数のこどもたちが実際に家でおじいちゃん、おばあちゃんだったり、親御さんであったり、自分より年下のきょうだいとかのケアをしているということが分かりました。

やはり、そういうケアの時間が長い子は、学校の休みの日数が多いということも分かりましたし、実際本人もそのアンケートに答えることで「おやっ」というふうに思ったことはあったかと思います。こどもだけではなく、こどもの支援をしている人へのアンケートも行っておりました、相当な数の支援者の方が、ヤングケアラーと思われるこどもを支援したことがあるとお答えいただいています。

今、区役所というか大阪市のほうで、このヤングケアラーの問題についてどう取り組むかということについては、副市長を筆頭にしたプロジェクトチームが立ち上がっており、区役所からもこの前まで生野区長が、今は港区長がメンバーに入っておられると思います。区役所からの意見も反映させながら、これからはアンケートの結果に応じて対策を取っていくということになると思います。

私自身が思っておりますのは、この1年、2年はとにかくにもヤングケアラーというのはいったいどういうことだということを周知啓発する期間だったと考えています。民生委員さん、児童委員さんももちろんですけども、学校の先生であるとか、区役所の、特に福祉分野だけではない全ての職員であるとか、支援者に対して、こういう課題があることを周知啓発した期間と。そのことによって、区役所の要保護児童の地域対策協議会でもそういう視点でここの世帯に関わっていないといけないというような声がたくさん上がるようになってまいりました。

実際の使える方策ですね。例えば精神疾患をお持ちのお母さんのおうち、ヘルパーさんを入れることができるよとか、そういう施策は割とたくさんあるんですね。問題はそこのご家庭が支援を受けていいと、サービスを使っていいという気持ちになるかどうかというところが大きい。むしろ支援拒否に傾きがちということが問題とっておりますので、新しい施策を作るのではなくて、今ある施策をどうやって、使う気持ちのハードルを低くして、そういう情報をお届けして、実際にそういうサービスを使っていたくところまで寄り添っていけるかというのがこれからの課題だと思っております。そういう意味では、行政の立場の者だけではとてもではないけれどもやっていけ

ないですから、地域の方であるとか、民生委員さん、児童委員さん、全てのこどもたちに関わる、世帯に関わる人たちのお力も借りながら、いろんなサービスを使っただけになり、必要な支援のところにつなげていくというようなことが必要なのではないかなというふうに思っているところです。また、プロジェクトチームとかで話し合われた中身とかも、次の会議のときにでもご紹介できればと思っております。

**○大森議長**

ありがとうございます。稲垣様よりヤングケアラーについてのご質問がありました。今、武市区長のほうから新しい施策よりも支援をどう受け入れていけるか。それを平野区全体あるいは大阪市、今、皆さんのような地域の方々の協力支援の下に進めていきたいというふうに答えていただきました。よろしいでしょうか。

**○稲垣委員**

はい。

**○大森議長**

他、皆様方どうでしょうか、ご意見。教育行政に関しても何か質問等、ご意見ありましたら、どうぞ。

特にないようでしたら、以上をもちまして本日の教育会議を終了させていただきますと思います。

皆様には、活発な意見をいただき、円滑に議事進行協力いただき、ありがとうございました。

それでは、区役所のほうにマイクお返ししたいと思います。

**○立本こども教育担当課長**

大森議長、箱谷副議長、議事の進行、どうも最後までありがとうございました。最後に板橋副区长からご挨拶を申し上げます。

**○板橋副区长**

長時間にわたり、活発なご議論、本当にありがとうございました。また、大森議長、

箱谷副議長におかれましては、円滑な議事進行、本当にありがとうございました。また、各委員におかれましては、円滑な運営にご協力いただきまして、ありがとうございました。

本日、区役所の中から分権型教育行政ということで、特に区内の読書関係含めた主な取組、いろいろご紹介をさせていただきました。また、この中にはこの教育会議の中でいただいたご意見を参考にしながら制度設計したもの、あるいはブラッシュアップしたものもあるという説明もさせていただいたところです。

ここ数年はコロナ禍の状況もあって、なかなか十分に組み立てていない状況ではございますが、我々としてもこういったものがきっちり継続して、子どもたちにしっかり届いていくような形で推進もしていきたいと思っておりますので、各委員におかれましては、また引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

また、先ほど来、お話に出ておりますように、コロナの状況もまだまだ収束が見えない状況もございます。非常に暑い日も続いております。各委員におかれましては、お体のほうも十分ご留意いただきまして、また第2回の会議には、本日よりのいろいろなご意見いただけたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。閉会に当たってのご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

#### ○立本子ども教育担当課長

本日は、さまざまな貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。今後とも平野区の教育施策にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

これをもちまして平野区教育会議を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。

以上